

## 令和元年度実施 議会報告会・車座集会 参加者意見のまとめ

開催日：令和2年2月5日

場所：高齢者いきいきセンター

開催地区：岸地区

項目	参加者意見	当日の答弁	調査結果（町回答）
道路関係	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小田原山北線（74号）南原地区S字カーブの拡幅をお願いしたい。</li> <li>・県道東山北停車場線（721号）の早期整備と酒匂川左岸道路の早期開通をお願いしたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町を通して県へ要望していく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・測量をすることになっていたが、台風19号の災害復旧のため遅れている。</li> <li>・計画により進めている。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スマートICをわざわざ降りてでも行きたくなるような、魅力ある施設が欲しい。</li> <li>・過去に掘った温泉をなぜ利用しないのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・（仮称）山北スマートIC周辺土地利用構想を基本に、委員会としても最重要課題として検討していく。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スマートICを活用してどうしたいのか。全体像が見えない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・議会の最重要項目として、今後調査研究に努め、様々な意見を行政に提言していきたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・（仮称）山北スマートIC周辺土地活用構想概要版をHPで周知する。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道の駅が狭いので、谷峨駅の近くに移転し、利益を上げる工夫を。また、日本一の橋を見ていただく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・（仮称）山北スマートIC周辺土地利用構想では、自然共生型定住・観光ゾーンとして道の駅周辺には日本一のアーチ橋を眺める眺望施設やつぶらの公園～大野山までのハイキングコースの整備、案内板等の設置を考えている。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スマートICで一日何台の車が利用し、どの方面へ車を導くのかしっかりと導線を描き、山北町にお金を落としてもらえる仕組みを作るべき。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・</li> </ul>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・つぶらの公園の利活用を目指し、スマートICからの連絡道は必要。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・</li> </ul>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スマートICで成功している地域の視察など調査研究を進めては。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・議会で先進地を調査し、必要に応じ視察研修など検討していきたい。</li> </ul>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・原耕地周辺の道路は交通量が多く、現在は道路の白線が見えない箇所がある。事故が起きる前に対応を。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・721号線の白線については、警察や関係各所に要望する。</li> </ul>

令和元年度実施 議会報告会・車座集会 参加者意見のまとめ

開催日：令和2年2月5日

場所：高齢者いきいきセンター

開催地区：岸地区

項目	参加者意見	当日の答弁	調査結果（町回答）
交通関係	<ul style="list-style-type: none"> <li>高齢者利用を考慮し町内循環バスをノンステップバスにして欲しい。 また、小型化して台数を増やし利便性向上を図ってほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>町では令和2年度から福祉タクシー券を富士急湘南バスで回数券としても利用できる制度に拡充する。循環バスの町内拡充は現時点では難しいが、町内の交通網の再構築については、庁内ワーキンググループで検討している。</li> <li>議会としても引き続き重要課題として町の+Q2公共交通+Q14, 調査研究を進めていく。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>年寄りの運転による交通事故が増えており、運転免許返納が必須になってくるが、循環バスがあっても使用者に不便である。南原地域の有志で何とかしたいと考え検討し始めたところだ。自分たちの車でと考えるが、事故の補償など色々課題がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>共和地区は、当初は個人所有の車などで始めた経緯がある。共助の運営は参考に出来るところはあると思う。共和は会員制、年会費制でやっているが、この場合は普通免許で運行出来、地元の有志が容易に参加協力出来、雇用にもなるメリットがある。課題の解決の相談の橋渡しはする。</li> </ul>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>今の循環バスの代わりに7人乗り位のワゴン車で、近距離を往復する交通があればいいと思う</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>町の公共交通ワーキンググループと共に議会も検討しているところだ。</li> </ul>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>岸では、原耕地の商業施設への買い物に、タクシーで行く人が多い。循環バスは行きは良いが、帰りがないと荷物が重くて大変だ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li></li> <li></li> <li>循環バスは、バス停留所以外の乗降については法令で禁止されている。小田原百貨店のバス停は、乗降客の利便性を考慮して当初の位置を変更したものである。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>運行時間帯が不便。乗りたい時間帯にバスが来ない。時刻表の見直しや増便などもっと利用者が増えるよう改善してもらいたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>議会としても重要項目として位置づけている。今後様々な角度から調査研究に努めていきたい。</li> </ul>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>今の大きさではなく、9人乗り程度の小型車両で枝道まで運行できないのか。</li> </ul>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>開成町は乗降自由と聞く。もっと町民目線にあったサービスを。</li> </ul>			
農林業関係	<ul style="list-style-type: none"> <li>森林バイオマスに関してペレットと薪ではどちらが良いと考えているか聞きたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>町ではぶなの湯、さくらの湯でチップペレットを検討している。</li> <li>薪ボイラーの方がいい面が多いと考え研究中である。ペレットは自動化されてよい面があるが、故障修理等メンテナンスに高額な費用が掛かる。道志村の例では、薪は人が必要だが空いている時間があり別仕事のついでに出来る。</li> </ul>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>山や川等自然資源がある山北町だ。それを生かした仕事があれば小田急線で通勤に時間をかけ首都圏まで行かなくてもいい。森林があるのに 職場がないのが困る。職場を作ることを考えてほしい。ラジオなどでも自伐型林業など小さくやれば儲かるとの話を聞いている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自伐型林業などの可能性について一般質問で町に問うなどしているところである。</li> </ul>	
観光関係	<ul style="list-style-type: none"> <li>ふれあいビレッジを早急に整備して、再開して欲しい場所の移転も検討しては再開まで場所を工事業者に貸してはふれあいビレッジの従業員の雇用対策も考えて欲しい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>町から議会へは、まだ明確な話はない町も調査研究中だが、安全対策をした上で早期の再開を目指していきたい河川が関係するので、県との協議が必要である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ふれあいビレッジは指定管理を解除し、今後、新東名工事業者へ工事完了後まで、貸付ける予定である。現状の炊事棟、シャワールーム棟は解体し、工事業者の資材置き場として利用する。工事完了後は、ふれあいビレッジの運営再開ができるよう考えている。</li> </ul>

## 令和元年度実施 議会報告会・車座集会 参加者意見のまとめ

開催日：令和2年2月5日

場所：高齢者いきいきセンター

開催地区：岸地区

項目	参加者意見	当日の答弁	調査結果（町回答）
公共施設関係	<ul style="list-style-type: none"> <li>岸高齢者いきいきセンターはゴミの不法投棄・無断駐車などで困っているの、高齢者いきいきセンターに防犯カメラを設置して欲しい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自治会要望も出して下さい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li></li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>岸高齢者いきいきセンターに災害時利用目的で公衆電話を設置するが、維持管理費を町で負担できないか。日向活性化センター・湯坂公民館等にも公衆電話を設置してほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>災害時利用目的で公衆電話を設置することについては防災の面からの必要性について町に確認する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>維持管理費は地域にNTTから入っている。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>宿地区には貯水槽があり地区水道として使っているが、老朽化した貯水槽の改修補助はないのか。水質は良いし自然落下式なので災害停電時でも使える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>町では町営水道で水を有料で供給しているのでその他の水道施設管理補助は出さないと考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地区水道への補助はできない。</li> <li>非常時であっても、飲料水としての利用はできない。</li> </ul>
総務・その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>町のホームページの洪水ハザードマップは県のホームページにリンクするが、わかりにくい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>議会としても、防災について検討していく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>県のホームページへリンクすることは最新の情報が得られる。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>山北町では財政を豊かにする方法として、小水力発電が一番適していると思う。4基位堰堤の下などに設置すればよいと思う。他県での財源としての成功例をまねてほしい。エネルギーの分散化は災害時にも必要だ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>山北町は水力発電などで自然エネルギー資源がある。山からの間伐材の活用にも着目している。薪ボイラーやペレットについても議会では道志村、早川町、小山町等の事例を研修している。現在、町では非常時用電源としてマイクロ水力発電を検討している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li></li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>個人宅地に植えた立ち木が大きくなって、重機がないと切れなく個人で手が付けられない。今のうちに対応してやらないと、空き家になったとき困るのではないか。町が調べて早めに伝えて、町に切ってもらえるかどうか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>町では個人の所有物には対応しないことでやって来ている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li></li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>丸山の新東名工事業者宿舎の跡地は、景観を利用し有効に活用してもらいたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li></li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>消火栓ケースは耐久性を考慮し、木製から金属製へ変更できないか。以前、障がい者の工房で木製ケースを作らせているため無理と回答があったが、それとこれは違うのでは。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>木製は環境のためにも良いし、町内の事業者を活用するためでもある。</li> </ul>

## 令和元年度実施 議会報告会・車座集会 参加者意見のまとめ

開催日：令和2年2月5日

場所：高齢者いきいきセンター

開催地区：岸地区

項目	参加者意見	当日の答弁	調査結果（町回答）
幼児・こども・子育て関係	<ul style="list-style-type: none"> <li>子供会が解散し、地域にどれだけ子供がいるか把握できない。災害等緊急時に安否確認などができない。最低でも自治会長だけでも地域の子供がどれくらいいるのか情報を知りたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>有事の際の安否確認等、地域コミュニティも含め、自治会長や組長が情報を知っておく必要はあると考える。個人情報等、問題もあると思うが考え方を行政に確認する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>子供の年齢別人数は窓口でお知らせはできる。</li> </ul>
高齢者・障がい者	<ul style="list-style-type: none"> <li>病気の時に、福祉タクシーを使いたい台数が少ななかなか利用できないが、社協のお出かけ号は使いづらい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>お出かけ号は1週間前に予約をしなければならない。利用は、1台につき本人とその介助者1組しか利用出来ないのは、改善すべき課題であると考えている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>近隣他町の社協での運用状況を調査し、山北町社協にも生かせることは、提案する。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>坂が多いので、共和福祉バスの様な高齢者の買い物支援が必要である。町内循環バスは買い物客にとって時間が中途半端で、帰りは重い荷物を持って坂道を上がることが多い。例えば原耕地の商業施設などが買い物品の配達等できないか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>共和の様な福祉バスを立ち上げるには、核になり地域をまとめる人が必要である。</li> <li>福祉バス、社協のお出かけ号やスクールバスの日中の活用を検討していく必要がある。</li> <li>町内循環バスの利便性向上が必要である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>庁内ワーキンググループ、総務常任委員会でそれぞれ検討中。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>車椅子のまま乗せられる車を町で導入して、必要な時に車のみを借られる様なシステムを考えては。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>行政がやるには、法整備が必要である。民間の方が、可能性が高いのでは。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>車椅子のまま乗せられる車は、町社協にあるが、貸出はしていない。</li> </ul>
福祉・その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>独居老人が増えてきているが、災害時の対応は自治会・民生児童委員任せなのか。町はどう考えているのか。避難勧告指示がでる前に避難所に自主避難できないのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>町が避難所開設時は、地域等で対応できない時、高齢者の避難が必要ときには町に要請あれば町の職員が迎えに行く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>町が避難所開設時は、地域等で対応できない高齢者には、要請あれば町の職員が迎えに行く。自治会で、一時避難所を開設できる。</li> </ul>
議員定数	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域が広く分散してなければ10人くらいで大丈夫だが、災害があったりとか考えると今の人数位は必要。地区代表を定数で決める選挙は出来ないのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>現状はだいたい連合区には一人はいる。現在の制度は地域割りの選挙は認めていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li></li> </ul>
なり手不足	<ul style="list-style-type: none"> <li>若い議員のなり手が無い件で、若い人の報酬を上げたらどうか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>やったところもあるが上手く行かなかった。町民対話を増やし議会が、信頼を回復することが先と考える。</li> <li>一般企業で定年まで普通に勤め上げるのに比べ報酬面や4年ごとの選挙を考えると非常にリスクのある仕事になっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li></li> </ul>
議員のなり手・報酬・定数関係	<ul style="list-style-type: none"> <li>定数削減し報酬を上げる。今の報酬では議員なり手不足は改善しないのでは。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li></li> </ul>
議会への要望	<ul style="list-style-type: none"> <li>県外視察の目的が見えない。視察に行って議会がどう変わるのか。町民にフィードバックが必要では。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>議会改革を先進的に進める議会を視察に行った。議員定数、報酬問題を含め、町民を巻き込んだ検討会の設立や広報広聴活動の多様な在り方、夜間休日議会の取り組みなど、先進的に議会改革に取り組んでいた。山北町議会でも今年度からおしゃべりカフェや各種団体との座談会など、広聴活動を充実し町民との距離を縮める取り組みを始めた。また、4月から議会広報モニター制度を導入する。視察で得られた効果は大きいと考える。これからの議会に注目してほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li></li> </ul>
あり方・その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>車座形式での意見交換は、少人数で発言しやすく良い試みである。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li></li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>議員の厚生年金加入は前向きに考えてみては。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li></li> </ul>